



# 白小だより

令和5年 4月6日

4月号

府中市立白糸台小学校  
校長 堀越 新一

## 本校への入学 新学年への進級 おめでとうございます

校長 堀越 新一

お子様のご入学、そして新しい学年への進級を、心よりお祝い申し上げます。6年間本校の教育活動を推進されてきた第十三代校長 寺田慎吾先生から引き継ぎ4月より校長に着任いたしました。

昭和45年開校の伝統ある白糸台小学校の校長としての責任の重さを感じ、身の引きしまる思いです。

初めて来校した際、正門を入ると正面に満開の桜が目に入りました。左手にスマイル広場。新緑が始まろうとしているハナミズキが並んで、校舎に導いてくれました。校舎の向こうに緑色の芝生も見えました。しかし、その前に気持ちが動いたのは、正門の隣の畑です。後で柿の畑だと分かったのですが、棚を作って木の形を整えている形状が似ており梨畑だと思ったのです。

小学校時代を過ごした関東平野真ん中の田舎町は梨の栽培が盛んで、通学路にはたくさんの梨畑がありました。時期になると道端や畑の中に落ちていた実を拾ったり、真っすぐな枝を見つけて遊んだり、その他にも登下校、特に下校時の通学路は私たちにとって絶好の遊び時間でした。学校生活に負けなくらい多くの今でも心に残っている場面があります。農家の方から梨や柿をいただいたことも、夢中になってカエルやバッタを追いかけて畑に入ってしまうなど叱られたこともあります。平野の真ん中、さえぎるものが少なく、夕方の太陽は地平線近くまでなかなか姿を消しません。いつの間にかオレンジ色の空、「早く帰りなさい」と声をかけていただいたことも。かつての梨畑に似た柿の畑を見て、しばし自身の子供の頃を思い出し、地域の方に見守られて育ってきたこと改めて振り返りました。

春休み、副校長と地域を回ると、多くの本校の子供に会いました。どの子も副校長に挨拶をしたり声を掛けたり、学校外でも自分からコミュニケーションを図っていました。地域の中で安心して穏やかに過ごす姿に、地域の方に大切に見守られているからこそその健やかな育ちを感じました。

令和5年度、新たに1年生84名を迎え、全19学級544名で新しい教育活動を開始いたします。教職員一丸となって子供たちと向き合っています。みんなで笑い合ったふるさとの風景は、将来子供たちが前に進むときの力になります。子供たちの心の中に、学校生活と共に地域の風景も残っていくよう、学校と地域、保護者の皆様との連携しながら子供たちの成長を共に喜び合えればと願っております。昨年度に引き続き、よろしくお願いいたします。

### 令和5年度 本校の教育目標及び目指す学校像（概要）

○教育目標 人権尊重の精神を基調とし、平和を愛し、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる  
知・徳・体の 調和のとれた人間性豊かな児童の育成

○目指す学校 「笑顔あふれるみんなの学校 ～認めて ほめて 伸ばす～」